

3月24日

横浜刑務所に
出所者を迎えに
行った際の写真



※門の前で待っていたら地域住民に怪訝な顔で見られました(笑)



※家の前の桜です。

現在までに9名の 刑余者の受け入れ

一般社団法人生き直しでは、自立準備ホーム生き直しへ入居した方々の支援を行っております。

皆さまから頂いた会費を使い、備品や食料（お米等）を購入する代金にさせていただきます。

そして今後の女性施設開設に向けての支度金とさせていただきます。

現在、所沢で一軒家を借りる手続きをしており、5月に引き渡しがあり、自立準備ホーム設置に向けて動いております。

平成31年4月

発行：(一社)生き直し

会員数：34名

寄付支援者数：49名

*単発寄付や物資等

自立準備ホームとは

自立準備ホームは、あらかじめ保護観察所に登録された NPO 法人、社会福祉法人などが管理する施設の空室等を活用し、行先のない刑余者の帰住先・定住先を確保するための「緊急的住居確保・自立支援対策」として 2011 年度から開始された更生保護分野の制度。*平成29年4月時点で登録事業者数が375。2万人以上の出所者がいて利用者はたったの1500人という現状。



出所者は反社会勢力の犠牲になりやすい？

先日、刑務所から出る出所者を迎えに行つたのですが、その際、どう見ても怪しい人（？）に連れていかれた、という人があつた。で、今回は、刑務所から出てきた人が反社会勢力にいかに加担してしまうか、そんなことを考察できればと思います。



お前は刑務所行ったやつ気持ちなんてわからんだろ！



出所



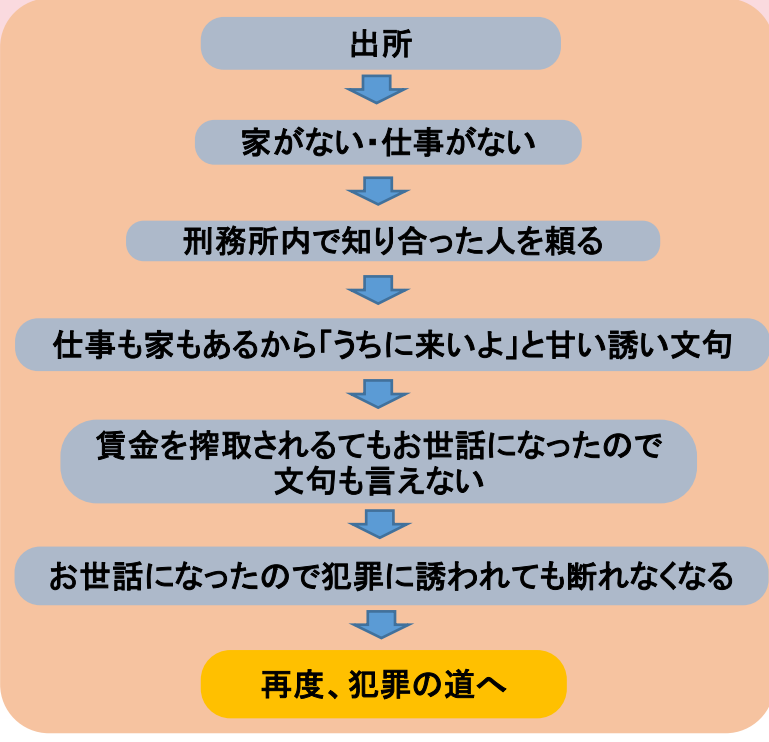
俺の気持ちわかるし、家も仕事あるならそちのほうがいいよな！

同室のよしみでフレが面倒みたるで！

○反社会勢力の人たちは人を操るのがうまい

今回、刑務所内におり出てきてから困ると言っている出所者を迎えに行つたところ、建設業の派遣をしていたという方に引き取られた。「建設業の派遣をしてい

し、本人は刑務所内でお世話になつていて、この人から「10年刑務所」と言われなかつた。本人は刑務所内でお世話になつていて、この人から「10年刑務所」と言われなかつた。本人は刑務所内でお世話になつていて、この人から「10年刑務所」と言われなかつた。



Mini Column① ～嘘のつき方～

○嘘はわかってしまう？
今まで150人ほどの出所者を見てきました。かなりの方が日常的に嘘をつきまくります。ただ、ほとんどの嘘は嘘だとわかってしまつたのですが、それはなぜか？

普段と違う行動をとるからです。たとえば「普段話さない人が急にたくさんしゃべりだす」
「普段よくしゃべる人が急に話さなくなる」
「視線を急に合わせなくなる」
こんなしぐさがあると嘘をついているとわかってしまうのです。

もしかすると男性のウソがバレやすいという点も、行動が普段と違ってやすいと察知しやすいためです。



現在までに9名の刑余者が！



いい仕事あるで！
ワシが紹介したる！

Mini Column② ～歌舞伎町は犯罪養成街～

○歌舞伎町は犯罪者を育成している？

出所者にとつて歌舞伎町はまさに犯罪養成街の様相を呈している。

刑務所から出てきてとりあえず歌舞伎町を歩いていると、

「刑務所から出てきたのか。仕事あるけどやるか？」

と声を掛けられる。その際に、どんな仕事があるのかと聞くと、

「①キヤッチ（風俗営業等の客引き）」

「②違法DVDの販売」

「③振り込め詐欺の受け子」

という3つの仕事を紹介される。

出てきて家もお金もない出所者にとつては、家がなくて日も稼げない仕事はとも、力がないと結果的にやっつけてしまっても捕されることしばしば。また、紹介する反社会勢力の方にとつては、住所不定で身分もかわらない人も少なく、都合よく回ることもある。このように歌舞伎町では、

このように形が現状だったりする。犯罪者を育成しているのが現状だったりする。

経営者のためのビジネスインタビューマガジン
「B.S.TIMES vol.21」に掲載

経営者のためのビジネスインタビューマガジン「B.S.TIMES vol.21」に自立準備ホーム生き直しのことを掲載させて頂くことに！

まだまだこのような施設があることすら知らない人も多いということから何よりも「知ってもらいたい！」という思いから取材をしていただきました。

不屈の精神を持ってプロレス界を牽引してきた小橋建太さんからパワー頂きました！



代表取締役
千葉 龍一

Tetsujin Point
再犯に及ぶ犯罪者たちの苦境を始めて知った。千葉さんは罪の苦しみを知っている人だ。そんな千葉さんから、出所者たちと伴走できるのだと痛感した。

TEL.042-497-4740 FAX.042-462-8677
<https://kinoashi.co.jp>

株式会社 生き直し 東京都

出所者の生活支援 誰でも『生き直し』できる

**出所者も同じ人だから
再出発を伴走する**

現在、施設に居るのは4名の出所者。法務省から委託を受けた事業として、「生き直し」は始まった。刑務所で得られる所得は年間1万円程度、実家などの帰住地が得られない人は半数に及ぶ。孤独や貧困に追い詰められ、おにぎり一個を盗んで刑務所に戻る人も多い。

千葉さんは彼らに半年間の住居を整えることで、生き直しを助ける。活動の根本には学生時代に自らの運転で事故を起こし、同乗者の友人を死なせてしまったつらい経験がある。罪の意識にさいなまれ人の役に立つ人生の中に救いを求めた。DV被害者や借金取りに追われる人を救う歌舞伎町の「駆け込み寺」で働き、中でも出所者が働く飲食店に深く関わった。

「彼らは人として同じなんです。他の施設では職員のことを。先生、と呼ぶが、うちの施設では僕のことを。先生、と呼ぶと言っています。」

今後は、自殺率の高い出所女性が住める施設も作りたいとのこと。千葉さん自身がこの事業で、新たな人生を生きなおしているのだ。





○自立準備ホーム生き直しでは、左記のものの寄付を募集しております。

- ① 賛助会員（寄付）
- ② お米や家に余っている食材等
- ③ 出所後 6 か月以内の出所者
- ④ 家（1Rでも可）

皆さまのご支援ご協力
お待ちしております



生き直し 代表
千葉龍一

女性の施設設置に向けて！

『生き直し』では、出所した男性向けの施設を運営してまいりましたが、新たに自殺率の高い出所女性を救うべく施設構築に向けて動きだしております。

安定した運営のため月額500円の寄付からあなたも一緒に「生き直せる社会の構築」に貢献してみませんか？

